

ASEAN 看護師育成会からの活動トピックス

ハートフルナース

2013年10月号

インドネシア看護師の

可能性広がる

ASEAN看護師育成会が以前から支援していた医療法人偕行会グループの株式会社JKRは、インドネシア企業とジャカルタに合弁会社カイクウカイ・インドネシアを設立した。年内にクリニック開設を予定しており、今後インドネシア看護師の受け入れ先として期待できる。



合弁会社設立の調印後の集合写真

合弁会社カイクウカイ・インドネシアは2013年7月、ジャカルタに総合内科の診察や日系企業の従業員健診、糖尿病疾患などの慢性疾患患者にも対応したクリニック開設を目指し、設立の調印を行った。日本の医療機関がインドネシア企業をパートナーとし、クリニックを開設するのは今回が初めてとのこと。クリニックは、「カイクウカイクリニック」の名称で、ジャカルタ南部のオフィシャル・セントラル・スナヤ

ンI（※1）内に開設予定だ。現地スタッフの採用も予定しており、今後ASEAN看護師育成会にて支援しているインドネシア看護師の受け入れ先として期待できる。



クリニック開設予定のセントラル・スナヤンI

近年のインドネシアの経済成長率は注目されているが、医療水準はアセアンの先進国と比べまだまだ低い水準であり、インドネシアの富裕層はシンガポールに治療へ出て行ってしまう。医療水準の底上げも視野に入れ、インドネシア人がインドネシアの中で治療が受けられるようなクリニックを目指す。

（※1）「セントラル・スナヤンI」は、中央ジャカルタのプラザスナヤンショッピングセンターに隣接する「セントラル・スナヤン・オフィスタワー」のひとつ。

選抜スタート、準備着々と

今年も日本の看護師資格取得を目指すインドネシア人EPA元看護師候補者を支援するため、8月より選抜を開始している。今年、10名程度の支援を予定している。

2013年5月に開催された医療法人偕行会と一般財団法人ASEAN看護師育成会主催のインドネシア人EPA元看護師候補者による意見交換会では、EPA元看護師候補者より再度日本の看護師資格取得を目指す意気込みを多数伺っている。こうした強く意思を持ち、夢を追いかけるEPA元看護師候補者の支援を今後も続けていきたい。